

令和6年度 第1回加東市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会 次第

と き：令和6年6月27日（木） 10:00～

ところ：加東市社公民館 2階 視聴覚教室

開 会

1 あいさつ

2 自己紹介

3 委員長、副委員長の選任

- ・委員長あいさつ

4 協議報告事項

(1) 令和6年度 生涯学習事業について（P.2～11）

- ・生涯学習課（生涯学習係、公民館、文化財係）
- ・人権協働課
- ・中央図書館

5 連絡依頼事項

(1) 東播磨・北播磨地区社会教育振興大会

○日 時 令和6年7月27日（土）13:30～16:00

○場 所 稲美町文化会館（コスモホール）

※出欠締切 7月2日（火）

(2) 近畿地区社会教育研究大会[京都大会]

○日 時 令和6年9月6日（金）10:20～15:40

○場 所 京都テルサ

※出欠締切 7月2日（火）

6 その他

- ・次回開催時期 11月頃を予定

閉 会

加東市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会 委員

委員

1	安原 一樹	
2	荒木 勉	
3	藤尾 桂子	
4	神戸 滋和	
5	竹内 守男	
6	近澤 玉幸	
7	土肥 昭彦	
8	柿本 美穂	
9	堂下 哲子	
10	石田 れい子	
11	後藤 浩美	加東市立滝野中学校 校長

加東市・加東市教育委員会

1	岸本 孝司	生涯学習課 課長
2	田中 美紀子	中央図書館 館長
3	松本 美香	滝野公民館 館長
4	大西 直美	(事務局)生涯学習課 副課長
5	岸本 善仁	(事務局)生涯学習課 主査

令和6年度 生涯学習課 事業の概要 【成果と課題】

組織目標：市民が、生涯を通して身近に文化芸術に触れ、また、気軽にスポーツが楽しめるよう、講座や体験などに参加できる機会の創出に努め、各種活動団体やサークルと連携し、充実した生涯学習環境づくりを進める。

1 青少年健全育成事業

<ねらい>

子どもたちが、自立して力強く生き抜く力「人間力」の育成をめざして、野外活動や創作活動、文化活動などの体験学習の機会を提供する。

<取組内容>

ア 小学生チャレンジスクール

・伝統文化（茶道、生花等）

※茶道教室 参加児童数 18 名

全 8 回 5/18、6/15、7/20、8/17、9/21、10/19、12/21、R7.1/18

※いけばな教室

全 3 回 8/3、9/14、10/26（最終日は、文化連盟祭の展示と一緒に作品展示）

・福祉体験 パラスポーツ 6/16

・創作体験 マグカップづくり 8/9、SDGs（しめ縄）12/7

・野外活動 スナッグゴルフ 7/25、デイキャンプ 未定

イ 学校・家庭・地域の連携協力推進事業「地域子ども教室」

・各小学校区 8 教室 11 会場で実施

ウ あったか加東伝の助かるた大会

エ 青少年活動に係る助成

・子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウトへの助成

オ 加東市ノーベル大賞作品展

展示 10/13～20

表彰式 10/13

カ 地域学校協働本部事業

・地域学校協働本部を設置（東条地域）

・地域学校協働活動推進員の配置（東条地域）

2 成人式事業

<ねらい>

二十歳を迎える対象者を祝い励ますとともに、大人としての自覚と自立を促すため、二十歳の集いを開催する。

<取組内容>

ア 二十歳の集い（R7.1/12 日開催予定）

・二十歳を迎える対象者による実行委員会形式で、「加東市二十歳の集い」を開催

3 成人学習事業

<ねらい>

成人の各世代を対象に、それぞれに楽しみや生きがいを見いだし、活気あふれる社会生活が送れるよう学習機会や場を提供する。

<取組内容>

ア 高齢者大学 参加者数 214 名

・講座【合同講座及び各教室講座】

開講式、閉講式、合同講座、教養講座、館外研修、スキルアップ講座、作品展
プログラム年間計 26 回

・クラブ活動【各教室】等 クラブ数 16

イ 成人学習講座

・「幸せを作る料理教室」 R7.2 月で講師調整中、11 月に講師決定

・「文学講座」 全 2 回 7/27、8/24

・「茶道教室」 全 5 回 6/15、8/17、9/21、10/19、12/21

ウ 社会教育等団体の育成・支援

・婦人会、連合 P T A への助成

エ 学習活動担い手事業「加東市生涯学習サポーター倶楽部」（通年）

4 芸術・文化活動の振興に関する事業

<ねらい>

芸術・文化活動に係る発表の場や機会を提供するなど芸術・文化団体の活動を積極的に支援する。

<取組内容>

ア 加東市公募美術展

・日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の 5 部門

作品展示 11/30～12/8

表彰式 12/8

イ ギャラリー活用事業（9 月下旬～10 月上旬）

・故榎倉香邨氏の書道作品特別展

・書道研究和心会 50 周年記念展との共同開催予定

ウ 文化振興団体等への助成

・加東市美術協会 ・加東市文化連盟

エ 文化振興事業

・文化事業開催委託

やしろ国際学習塾（指定管理者 公益財団法人 加東文化振興財団に委託）

東条文化会館（指定管理者 特定非営利活動法人 新しい風かとうに委託）

5 文化財保護の推進と活用に関する事業

＜ねらい＞

文化財の保護及び伝承を図るとともに、貴重な加東市の文化財の活用・広報に努める。

＜取組内容＞

ア 文化財保護対策事業

- ・後継者育成事業（無形民俗文化財）
- ・防火設備管理事業（定期保守点検、上鴨川住吉神社消防設備改修（自動通報装置取替））
- ・指定文化財修理事業
- ・加東遺産講座 加東遺産（市内に全 10 件）を関連文化財とともに紹介

イ 資料館事業

- ・「見る・触れる」文化財教室 所蔵施設の紹介や体験型学習の実施（年 3 回程度）
第 1 回 5/18「下滝野・奥瀬遺跡発掘調査」現地説明会
- ・資料館無料開放事業
 - ①ひょうごプレミアム芸術デー（兵庫県全体で芸術文化を楽しむ機運を盛り上げる）
7/9～14
 - ②関西文化の日（関西の文化資源をアピールし、文化愛好者の増大と集客を図る）
11 月（未定）

ウ 埋蔵文化財調査事業

- ・個人住宅開発等に伴う試掘調査
- ・滝野地域小中一貫校建設関連工事（雨水排水路布設替）に伴う試掘調査
～5 月末迄

6 生涯スポーツの普及・振興に関する事業

＜ねらい＞

市民がそれぞれの年齢や体力に応じて、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しむとともに、スポーツを通して、市民相互の親睦や理解が深められ、健康増進や体力向上が図られるように、スポーツ事業を実施する。

また、市のスポーツ振興やスポーツニーズの受け皿となるよう自主的なスポーツサークル活動やスポーツの振興体系の中核を担っている市スポーツ協会に対して支援を行うとともに、スポーツ団体及び市民アスリートに対して賞賜金等を贈ることで荣誉と誇りを市民と共有することによりスポーツ振興を図る。

ア 体力や年齢に応じたスポーツの場と機会の提供 [各種大会の開催]

- ・ふれあい球技大会
 - 卓球・ペタンク・ゲートボール（11/3）
 - グラウンドゴルフ（11/10）
 - パークゴルフ（9/29）
- ・加東伝の助マラソン大会（1/19）

イ スポーツを通じた地域コミュニティづくり [地区親善大会の開催]

- ・地区親善ソフトボール大会（5/12）

- ・地区親善家庭バレーボール大会（11/10）

ウ 生涯スポーツ振興のための基盤づくり

- ・ALL かとうスポーツ DAY（体力測定会）（6/16、2/16 開催予定）
- ・スポーツ推進委員の出前講座（ニュースポーツ体験等）
- ・わくわくウォーキング（11/24 開催予定）
- ・三草山登山

エ 各種スポーツ団体、サークルへの活動支援

- ・市スポーツ協会（種目協会）等への助成等、市スポーツ協会特別補助金

7 各施設の維持管理

＜ねらい＞

- ・社会教育・体育関係施設を安全・安心な施設として市民に提供する。

＜取組内容＞

- ア 社・滝野・東条公民館の維持管理
- イ 加古川流域滝野歴史民俗資料館・三草藩武家屋敷旧尾崎家の維持管理
- ウ 明治館・コミュニティセンター東条会館・さんあいセンターの維持管理
- エ 地域交流センターの維持管理
- オ 東条西ふれあい館の維持管理
- カ 文化会館の維持管理 ※2館指定管理
- キ 体育施設の維持管理 ※14施設指定管理

○令和6年度の主な施設整備事業

- | | | |
|-----------------|---|----------------------|
| ・滝野公民館 | ⇒ | 空調・LED照明改修工事 |
| ・地域交流センター | ⇒ | 屋上防水・外壁・内装・LED照明改修工事 |
| ・東条西ふれあい館 | ⇒ | 外装等整備工事 |
| ・やしろ国際学習塾 | ⇒ | 変電設備・ケーブル更新工事 |
| ・コミュニティセンター東条会館 | ⇒ | 屋内消火栓用非常用発電機設置工事【繰越】 |

令和6年度の人権教育・啓発事業について

市民協働部人権協働課

1 人権教育事業

(1) 地域に学ぶ体験学習支援事業

ア ねらい・内容：参加体験型の学習活動を通して様々な人権問題を発展的に学ぶことにより、確かな知的理解と豊かな人権感覚を養い、差別解消に向けた実践行動力を育成する。

イ 対象者

(ア) 風の子学級：社小学校の対象児童

(イ) 小学生じんけん教室：全小学校、義務教育学校(前期課程)の4～6年生児童

(ウ) 人権ジュニアリーダー学級：全中学生、義務教育学校(後期課程)の生徒

ウ 内容

(ア) 風の子学級：ふるさと学習、仲間づくりを中心に実施

(イ) 小学生じんけん教室：多文化交流体験、同和学习、障害者理解のための事業

(ウ) 人権ジュニアリーダー学級

7/25：同和学习（堺市人権ふれあいセンター等の見学と講話）

8/ 8：人権学習（テーマは調整中）

8/20：平和学習（sora かさいと鶴野関連施設見学）

2 人権啓発事業

(1) 人権啓発講演会

ア ねらい：様々な権課題に関する講演を通して、市民一人一人が人権の意義や重要性について理解を深め、人権尊重意識の高揚を図る。今年度の講演テーマは「多文化共生」。

イ 内 容：小学生の人権作文発表（社小学校、三草小学校、滝野南小学校）と講演

ウ 日時・場所：7/6 13：30～15：30 やしろ国際学習塾

エ 講師・演題：星野ルネさん（漫画家・タレント）

「アフリカ少年と考える、多様性のある社会」

(2) 人権を考える市民のつどい

ア ねらい：各分野（地域、学校・園、企業）の人権啓発活動の実践発表や、人権作文の発表を通じて、人権尊重の重要性や人権課題の解決に向けて考える。

イ 内 容：中学生の人権作文発表（市内3中学校・義務教育学校）と人権学習の実践発表（地区、学校・園、事業所）

ウ 日時・場所：R7/2/1 13：30～（予定） 地域交流センター

(3) 第18期加東市民人権講座

ア ねらい：地域の人権教育推進のためのリーダー育成。

イ 日時・場所・内容

第1回 6/22 13:30～15:00 やしろ国際学習塾

テーマ：部落差別

講師：内田龍史さん（関西大学社会学部教授）

演題：「部落差別の現在と部落解放への展望」

第2回 8/22 19:30～21:00 地域交流センター

テーマ：男女共同参画

講師：相川康子さん（NPO 法人政策研究所専務理事）

演題：「災害にも強いまちづくり～みんなで考える地域防災～」

第3回 11月中旬～下旬 ケーブルテレビ、YouTube での放送・配信

テーマ：性の多様性

講師：徳永桂子さん（大手前大学非常勤講師）

演題：（調整中）

（4）人権文化をすすめる市民運動

8月を「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間とし、小・中学生からの人権ポスター・標語募集・表彰や人権啓発展、街頭啓発活動等を通じて、市民の人権意識の高揚を図る。

（5）人権啓発情報誌「夢きらめいて」の発行

さまざまな人権問題をテーマとした特集記事や各種事業、相談窓口等を掲載した情報誌を年2回（10月・3月）発行し、市民の人権意識の高揚を図る。全戸配布するほか、公共施設や市内医療機関・薬局に配置する。

（6）人権啓発番組「夢きらめいて」の制作・放送

ケーブルテレビの番組に、人権擁護委員と人権協働課職員・法務局職員が出演し、人権に関するさまざまな情報を発信し、市民の人権意識の高揚を図る。

（7）「人権の花」運動

花の種や苗を小学校に配布し、「人権の花」として児童が世話をし、育てた花を福祉施設等へ寄贈し、交流を図る。人権擁護委員と連携して実施する。

令和6年度実施校：福田小学校、米田小学校

（8）インターネット・モニタリング事業

インターネット上の差別を助長する書き込み等を監視し、抑止効果を図る。当該書き込みを発見した場合には、関係機関に対し削除依頼等を行う。

（9）社会を明るくする運動

7月の「社会を明るくする運動」強調月間（全国活動）に参画し、運動の啓発を行うとともに保護司と更生保護女性会の会員による活動を支援する。

(10) 人権擁護委員との連携事業

人権擁護委員と連携し、街頭啓発活動（年２回）を行うほか、特設人権相談所の開設やミニ人権教室の開催等の活動を支援する。

ア 街頭啓発活動： 8/1 人権文化をすすめる市民運動

12/6 人権週間

イ ミニ人権教室：やしろなかよしくらぶ、ふくだなかよしくらぶで実施予定。

ウ 特設人権相談所の開設：5/1、6/3、12/3

(11) 人権相談事業

電話や面談で、市民からの人権に関わる相談に応じる。

3 広域隣保活動事業

住民福祉の向上を図るとともに、人権問題に対する理解を深めるため、相談事業や人権教育・啓発事業（人権講演会）、地域交流事業（いきいきゲーム教室等）、地域福祉事業（回想法アフター、ヨガ講座）、広報・啓発活動事業（隣保館だよりの発行等）を実施する。

(1) 相談事業

毎週水曜日の相談のほか、年３回の特設総合相談の実施

(2) 人権教育・啓発事業

人権教育資料室の公開や絵本の読み聞かせのほか、人権講演会を開催予定。

人権講演会：8/31 14：00～15：30 社公民館 研修室

演題：「インターネットと人権 ～何気ない投稿から起きる人権侵害～」

講師：篠原嘉一さん（N I T情報技術推進ネットワーク㈱代表取締役）

※加東市企業人権教育協議会と共催

(3) 地域交流事業

いきいきゲーム教室

(4) 地域福祉事業

回想法アフター、ヨガ講座

(5) 広報・啓発活動事業

隣保館だよりの発行（毎月）のほか、各種事業の広報を広報誌やホームページ等を活用して実施。

4 男女共同参画事業

第４次加東市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画と女性活躍を推進するため、女性リーダー育成研修をはじめとした各種事業を実施する。

(1) 男女共同参画事業

ア 女性リーダー育成研修「加東ウィメンズリーダー塾」

市内で様々な活動をする女性の交流会をはじめ、エンパワメントにつながるセミナーを実施。

日 程：8/25、10/5、10/26、11/9、12/7

※12/7 は北播磨管内女性リーダー交流会を兼ねる

講 師：松尾やよいさん（夢こらぼ主宰）

中村和子さん（オフィスE E E 男女共同参画アドバイザー）

その他：12/7 は、講師に中貝宗治氏（元豊岡市長）を招聘

イ 男性対象講座等のセミナー

調整中

ウ 自主活動グループの活動支援

女性リーダー育成研修の受講生で結成したグループの活動支援を行う。

（2）北播磨管内女性リーダー交流会

北播磨地域5市1町が連携して、女性リーダー育成を目的とした事業を共同実施する。

（3）その他

人権啓発情報誌やホームページ等で、男女共同参画・女性活躍について啓発を行う。

5 その他

（1）加東市人権・同和教育研究協議会

部落差別問題をはじめとして、あらゆる人権課題を解決するために市の人権・同和教育の研究及び人権啓発の推進を図り、人権文化の創造に努めることを目的とした団体で、地区住民学習の推進や学校・園における人権・同和教育の実践に係る研究、団体別研修の推進等を行う。

（2）加東市企業人権教育協議会

企業・事業所における人権教育を推進し、差別のない明るい社会づくりに貢献することを目的に活動されている。市内92事業所が加盟し、年間5回の社員研修（うち1回は市民公開講座として開催）を実施している。

ア 第1回：5/8 DVD視聴「心をつなぐ、はじめの一步」

イ 第2回：7/11 講演会「だれもがイキイキと活躍できる企業へ」

講 師：山本利映さん（ひょうご仕事と生活センター外部専門家）

ウ 第3回：8/31 講演会「インターネットと人権」 ※市民公開講座

講 師：篠原嘉一さん（NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社代表取締役）

エ 第4回：10/31 講演会

オ 第5回：R7/1/23 講話と実技

6 多文化共生推進事業

市民の国際感覚や外国人と共生する意識の醸成を図るため、加東市国際交流協会と連携し、在住外国人との交流事業等を実施する。

また、在住外国人が暮らしやすい環境づくりを推進するとともに、その社会参加を促進するため、相談窓口の設置や、加東市国際交流協会と連携して日本語教育支援や生活情報の提供等の生活支援事業を実施する。

図書館では、基本的人権のひとつ「自由に生きる権利」からの、市民の「読みたい」「知りたい」「楽しみたい」といった要求に、貸出を中心とする資料提供で応えていくことを最も大切な業務と位置づけ、図書館が潤いのある生活の創造の場になるとともに、まちづくりを担う生涯学習の基盤施設となるよう努めたいと考えています。「人にやさしく、暮らしに役立つ図書館」を念頭に、いつでも、誰でも、どこでも、楽しく読書できる環境を目指します。

1. 図書館運営事業

- ・3図書館の適正な運営、ほぼ毎日の資料搬送業務の委託、市民の意見を図書館運営に反映させるための図書館協議会の開催など、図書館運営の向上を図ります。
- ・市内7小学校と2中学校及び1義務教育学校へ図書館から本を届ける「おとどけ図書館」を学校の要望も取り入れながら行います。
- ・北播磨広域定住自立圏共生ビジョンにより、3市1町（加西市・西脇市・多可町）の図書館間で図書等の相互利用の強化を図るとともに、返却本の預かりサービスにより圏域内利用者の利便性の向上を図ります。
- ・職員については研修会等への積極的な参加を行い、専門知識を培うとともに資質向上に努めます。
- ・図書館への来館が困難な市民に向けての「図書宅配サービス」を継続するとともに、館内の読書バリアフリーを進めます。

2. 図書館充実事業

- ・図書館システムの維持管理を行い、パソコンやスマートフォンでの図書検索、予約サービス、図書館アプリ活用により、さらなる利用の拡大を図ります。
- ・資料収集については、加東市図書購入基準に基づき、要求が最も多い新刊図書や雑誌・新聞などを購入するとともに、加東市図書廃棄基準に基づき、傷みの激しい図書の廃棄及び買い替えにより蔵書の充実を図り、市民に役立ち、生活を豊かにする新鮮で魅力のある蔵書の維持に努めます。
- ・特設展示を充実させ、利用者が様々な本と出逢うきっかけを作ります。

- ・劣化した郷土資料の修繕を行います。
- ・図書館システムにおいて、マイナンバーカード対応端末を導入し、法律上適切なマイナンバーカードの使用方法に変更します。

3. 図書館主催事業

- ・児童に読書と図書館に関心を持ってもらうため、小学生の図書館体験として「おでかけ図書館」を実施します。
- ・各館とも定期的に職員やボランティアによる「おはなし会」を開催します。
- ・読書活動推進事業「ヨミカツ！」として、利用者参加型の催しを実施し、図書館利用の促進を図ります。
- ・健康課と連携し「はじめてであう絵本」を拡充した「ブックスタート事業」として、4カ月児健診の場で読み聞かせと保護者への啓発を行い、絵本を手渡します。
- ・人権協働課と連携し「人権絵本の読み聞かせ」を行います。

4. 中央図書館施設維持管理事業

- ・中央図書館施設の適正な維持管理に努めます。2階書庫床改修工事を行い、施設の安全性を高めます。

5. 滝野図書館施設維持管理事業

- ・滝野図書館施設の適正な維持管理に努めます。1階屋上防水他改修工事を行い、施設の安全性を高めます。

6. 東条図書館施設維持管理事業

- ・東条図書館施設の適正な維持管理に努めます。部分的に防水改修工事を行います。

第3回(3/14)会議グループ協議意見まとめ

テーマ「令和5年度 生涯学習事業の取組内容及び評価について」

<グループ①>

- ・人口のわりに事業が多すぎるのではないか。
- ・裾野を広げるのはいいが、質を高め、参加実数を増やすことも大切である。同じ人が色々な事業に参加しているように思う。行かない人は行かない傾向にある。図書館もリピーターが多いのではないか。
- ・個人で学ぼうと思えば、インターネットで学べる時代である。加東市で、行政でないとできないこと、集団で学ぶことに意義があること、そこに力を入れていけばよいのではないか。
- ・今の時代にあった生きた講座をする方がよいのではないか。例えば、料理教室については、高尚な内容ではなく、冷凍食品をどうおいしくするのかなど。学習内容を含めた転換が必要。
- ・行きたくなかったが、いざ参加するととてもよかったということもある。興味がなかったが、新たな発見があったというのもある。誘い方の工夫も必要ではないか。HP等でアナウンスはしているが、参加者が希望する内容にアクセスしやすいシステム、方法等、もっと工夫をしてはどうか。
- ・アンケートの自由記述をしっかりと読んで、もっと分析する必要がある。

<グループ②>

- ・資料が多いので、事前配布してほしい。よく読んだうえで、会議に臨みたい。
- ・アンケート結果を資料として提示していただいたのはよいが、指導者やスタッフの声も聞きたい。
- ・課題については、何が課題でどういうところがいけないのか。よいところは、どこがよいのか。もっと具体的に知りたい。
- ・人権協働課の人権市民を考える市民の集いで、子どもたちの発表はよいが、5回の実施ではなく、3回にして、もっと参加者を増やせばよいのではないか。

<グループ③>

- ・婦人会では、事業やイベントを実施した際に、子どもの参加が少ない。PR方法の難しさを感じる。
- ・子ども会では、個人での参加はしやすいが、団体での参加者が集まりにくい現状がある。
- ・校長会などを利用した学校への依頼、直接学校へ出向いてのPRもよいのではないか。
- ・参加した際に、役割があたるのを嫌がる傾向が強い。特に若い世代。個人主義になっているように思う。やはり大人のコミュニケーションが不足している。時代が進むにつれてますます進んでいくのではないか。学校ではPTAからPTCA(Cは地域の方)への組織の変化もある。

令和6年度社会教育関係事業予定

1 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会 関係

事業名	期 日	開催地（会場）
第1回幹事会	5月9日（木）	加古川総合庁舎
総会・第1回研修会	6月6日（木）	多可町 八千代コミュニティプラザ
第2回幹事会 公民館との合同会議	7月5日（金）	稲美町立いきがい創造センター
第2回研修会（振興大会）	7月27日（土）	稲美町文化会館（コスモホール）
第3回研修会（合同研究大会）	10月29日（火）	稲美町ふれあい交流館
第3回幹事会	2月28日（金）	加古川総合庁舎

2 兵庫県社会教育委員協議会 関係

事業名	期 日	会 場
定期総会・研修会	6月4日（火）	県民会館けんみんホール
兵庫県社会教育研究大会	11月27日（水）	県庁付近

3 全国関係・近畿関係

事業名	期 日	会 場
全国社会教育研究大会	10月23日（水）～25日（金）	水戸市民会館（茨城県水戸市）
近畿社会教育研究大会	9月6日（金）	京都テルサ（京都市）

令和6年度東播磨・北播磨地区社会教育振興大会開催要項

1 趣 旨 高齢化、情報化、国際化社会を迎え、更には青少年問題から家庭教育の見直し等、社会教育にかかわる情勢の推移のなかで、社会教育の振興が緊要の課題となっている。この時に、より高度な視点から社会の現状を正しく把握し、社会教育の核心に迫る地道な研修を深め、東播磨・北播磨地区社会教育の振興に資する。

2 テーマ 「社会教育の振興」

3 主 催 東播磨・北播磨地区社会教育振興会

4 後 援 兵庫県教育委員会播磨東教育事務所（予定）
稲美町教育委員会（予定）

5 日 時 令和6年7月27日（土）13：30～16：00（13：00～受付）

6 会 場 稲美町立文化会館 コスモホール
（加古郡稲美町国安 1286 番地の1 Tel.079-492-7700）

7 参加者 社会教育委員、公民館職員、視聴覚教育連盟理事並びにセンター委員、PTA協議会会員等の社会教育関係者

8 日 程

13:00	13:30	14:00～	14:20～15:50	16:00
受 付	開 会 行 事	シ ョ ン ア ト ラ ク	講 演	閉 会

（1）開 会

あいさつ 東播磨・北播磨地区社会教育振興会
会 長 松尾 弥生

祝 辞 兵庫県教育委員会播磨東教育事務所
所 長 東 弘美 様

稲美町教育委員会 教育長 北谷 錦也 様

（2）講 演 （約90分）

演 題 「みんなががんばれる地域社会づくりのために」

講 師 合同会社 人・まち・住まい研究所代表
特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所
副理事長 浅見 雅之 氏

令和6年度
近畿地区社会教育研究大会〔京都大会〕
社会教育活動実践交流フォーラム・令和6年度京都府社会教育研究大会
(きょうと地域創生府民会議協賛事業申請中)

開催要項

- 1 趣 旨 近畿各府県社会教育委員をはじめ、社会教育関係者・社会教育に関心のある方が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践や研究の成果について交流を深め、今後の社会教育活動の一層の振興を図るとともに、時代の変化と社会のニーズに応じたこれからの社会教育のあり方について研究協議を行う。
- 2 研究主題 **人がつながりあう地域をめざして
～ウェルビーイングを高める社会教育のあり方～**
- 3 開催日 **令和6年9月6日（金）**
- 4 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合 近畿地区社会教育委員連絡協議会
京都府社会教育委員連絡協議会 京 都 府 教 育 委 員 会
- 5 主 管 近畿地区社会教育研究大会実行委員会
- 6 後 援 和歌山県教育委員会 大阪府教育委員会 兵庫県教育委員会
(予定) 奈良県教育委員会 滋賀県教育委員会
- 7 会 場 京都テルサ
- 8 参加対象 近畿各府県市町村社会教育委員・社会教育関係者・社会教育に関心のある方
- 9 参加費 2,000 円（資料代）
- 10 大会日程

9:40 開場・受付開始（京都テルサ ホール前ロビー）

..... ■ 全 体 会 ■

10:20 開会行事

- | | |
|----------|--|
| ◇開会のことば | 京都府社会教育委員連絡協議会副会長 |
| ◇主催者あいさつ | 近畿地区社会教育委員連絡協議会会長
一般社団法人全国社会教育委員連合会長
京都府教育委員会教育長 |
| ◇祝 辞 | 京都府知事 |
| ◇来賓紹介 | |

- 11:00 **記念講演**
 演題 祇園祭「鷹山」196年ぶりの復活 ～人がつながり、想いをつなぐ～
 講師 山田 純司 氏（公益財団法人鷹山保存会 理事長）
 池田 有爾 氏（公益財団法人鷹山保存会 作事方棟梁）
 鷹山保存会 囃子方の皆様
- 12:20 **閉会行事**
 ◇次期開催府県あいさつ 和歌山県社会教育委員連絡協議会会長
 ◇閉会のことば 京都府社会教育委員連絡協議会副会長
- 12:30 **【休憩・移動】**
- ■ 分科会 ■
- 13:40 **分科会**（以下のとおり）
- 15:40 **終了予定**

11 分科会 京都テルサ（テルサホール・セミナー室・大会議室・中会議室・D会議室）

第1分科会	テーマ	地域と共に歩む社会教育 ～公民館活動を中心とした社会教育活動～
地域づくり （社会教育施設 等の活用） 【和歌山県】	報告の 要 旨	少子高齢化による過疎化が進む太地町では、公民館を中心に学校や地域を巻き込みながら、様々な活動が実践されている。地域社会の一員として、大人から子どもまで太地町という郷土に愛着を持ち、暮らしていくための社会教育活動を報告する。
	討議の ポイント	・行政や地域団体とのつながりの中で地域社会の一員としての意識をどのように芽生えさせていくか。 ・地域の様々な人々や団体が連携・協働して地域社会をつくるために大切なことは何か。
第2分科会	テーマ	地域おこし協力隊の活動から考える地域づくり
地域づくり （地域創生・ コミュニティ） 【兵庫県】	報告の 要 旨	地域おこし協力隊の経験から、社会で役割を得て人の役に立つ喜びを知り、地域づくりを仕事としてできれば継続できることを学んだ。 地域の様々な場面で「担い手不足」が叫ばれる中、鍵となるのは「地域活動条件の改善」ではないか。 多様な人たちと関係性を作り活動の在り方を見直すために、社会教育の役割はより重要となるであろう。
	討議の ポイント	・多様な生き方や考え方を持つ人たちと、どのように関係性を築いていくか。 ・どのようにして地域活動への参画者を増やしていくか。
第3分科会	テーマ	あたたかい交流と思い出づくり ～外国人と地域をつなぐ日本語教室の取組と広がり～
ボランティア 【大阪府】	報告の 要 旨	一人のボランティアによって運営され、地域に暮らす外国人が日本語を学ぶだけでなく、安心して過ごせる場所となっている豊能町の日本語教室「とよのほんご」。外国人と地域をつなぎ、誰もが快適で住みやすい多文化共生のまちづくりをめざして取り組むボランティアの活動について報告する。
	討議の ポイント	・ボランティアが多文化共生のまちづくりに果たす役割について。 ・ボランティアと行政や他団体等とのつながりを増やすにはどうすればいいか。 ・地域のボランティアを発掘・育成するための工夫や課題について。

第4分科会	テーマ	櫟本の挑戦 ～子どもたちのためにあなたはナニをする…？～
学校・家庭・地域の協働 【奈良県】	報告の要旨	櫟本こども夢応援プロジェクトは、「子どもたちは地域の宝物」という基本理念に基づき、「健やかな成長」と「将来の目標づくり」のために地域一丸となって子どもたちを応援している。町の力で将来町の力になる子どもを育むため、地域がつながりあう活動を充実させ、子どもの学ぶ意欲の向上と居場所づくりを目指している。地域が主体となって運営する「子どもたちの学力向上のための事業」・「子どもたちと地域住民のコミュニケーションを図る事業」・「子どもたちの夢をつなぐ事業」について報告する。
	討議のポイント	・持続可能な自立した運営をすすめるにはどうすればよいか。 ・子どもたちの笑顔のために、健やかな育ちのために、自分たちがつながりあう仕組みづくりをいかに楽しんでおこなえるか。
第5分科会	テーマ	地域をひとつの家族に！ ～大人と子どものつながり キーワードは適度な距離感～
人権教育 【滋賀県】	報告の要旨	「美松台女性連絡協議会」略称「美女連」。子どもたちが気兼ねなく集える放課後の居場所づくりに取り組む女性組織。取組では地域の老若男女が適度な距離感で「つながる」ことを視野に入れ模索を重ねている。分科会では、絶えず変化する地域コミュニティの在り方をグループの活動を通して考えたい。
	討議のポイント	・地域コミュニティづくりにかかせない子どもとのつながりについて、世代ごとのポイントと課題 ・子どもたちそれぞれの悩みに寄り添うための距離の取り方（プライバシーと人権）

※各分科会の会場については、8月に配付予定の参加証と併せて、市町村教育委員会に送付します。

※この研究大会につきましては「クールビズ」を実施しますので、御理解くださいますようよろしくお願いいたします。また、御参加くださる皆様も、是非クールビズでお越しください。

12 会場案内



京都テルサ

住所：京都市南区東九条下殿田町 70 番地
（新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内）
電話：075-692-3400 FAX：075-692-3402

公共交通機関でお越しの方

- J R 京都駅（八条口西口）より南へ徒歩約 15 分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約 5 分
- 地下鉄九条駅 4 番出口より西へ徒歩約 5 分
- 市バス九条車庫南へすぐ

自家用車・マイクロバスでお越しの方

- 名神京都南インターより国道 1 号北行き市内方面へ、九条通を東へ、九条新町交差点を南へ
- 有料駐車場が地下に 180 台あり
 - ・最初の 1 時間 440 円
 - ・その後 30 分ごとに 220 円加算
 - ・8:00～22:00 の駐車料金が上限、1,700 円になっています。
- マイクロバス用屋外駐車場
 - ・一日 1,700 円

※満車の際は御利用頂けない場合もあります。

13 参加申込

- ◇ 参加者は、次の「参加申込票」に参加費（2,000 円）及び弁当代（1,000 円、希望の方のみ）を添えて、6 月 28 日（金）までに各市町村教育委員会に提出してください。
- ◇ 各市町村教育委員会は、「参加申込票」及び参加費・弁当代を取りまとめて、7 月 5 日（金）までに、各府県教育委員会生涯学習・社会教育主管課宛てに送付してください。
- ◇ 各府県教育委員会は、参加を取りまとめ、参加申込総括表（別様式）を 7 月 12 日（金）必着で大会事務局宛てに送付してください。参加費及び弁当代については、大会事務局が指定する銀行口座に振り込んでください。振込手数料については、申込者で御負担いただきますようお願いいたします。
 なお、参加費及び弁当代については、天候不順等による中止時を含め、参加申込み後は返金できません。欠席の方の資料・弁当は、市町村単位で大会当日に代理の方が必ず受領してください。
- ◇ 参加証と弁当引換券及び分科会会場案内は、大会事務局から各府県教育委員会を経由して各市町村教育委員会へ送付します。
- ◇ 宿泊につきましては、各参加者で会場近隣のホテル等を御予約下さい。

令和 6 年度近畿地区社会教育研究大会〔京都大会〕参加申込票

(ふりがな) 名 前			所属名	
			職 名	
希望分科会 (分科会番号を記入)	第 1 希望		昼食弁当 申込	要 ・ 不要 (1,000 円) (いずれかを○で囲んでください)
	第 2 希望			
大会参加方法	1 公共交通機関 2 貸切バス・マイクロバス（公用も含む） 3 自家用車（公用も含む） (いずれかを○で囲んでください)			
配慮が必要なことが ありましたらお書き ください。	盲導犬同伴、車いすを利用、手話通訳希望 など			

- * 「所属名」は、市町村名、課名等を記入してください。
- * 「職名」は、社会教育委員、社会教育課長、社会教育主事等を記入してください。
- * 「希望分科会」は 1～5 の分科会番号を記入してください。なお、会場の都合等により第 2 希望となる場合もありますので、あらかじめ御了承願います。
- * 「昼食弁当申込」は、要・不要について、○印を記入してください。
- * 「大会参加方法」は、1～3 の該当の番号に、○印を記入してください。
- * 可能な限り公共交通機関を御利用ください。
- * 当日の午前 6 時の時点で、気象庁より「京都市」に特別警報または暴風警報が発表されている場合は、大会を中止します。（午前 6 時以降に警報が解除された場合についても中止。）なお、午前 6 時以降に警報が発表されても開催する予定ですが、開催が困難で、急遽中止をすると主催者が判断した場合のみ、京都府教育委員会社会教育課ホームページで情報提供をしますので御確認ください。



気象庁ホームページ
2 次元コード

令和 6 年度近畿地区社会教育研究大会〔京都大会〕事務局
(近畿地区社会教育委員連絡協議会事務局)

〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府教育庁指導部社会教育課内

電 話 075-414-5887 F A X 075-414-5888